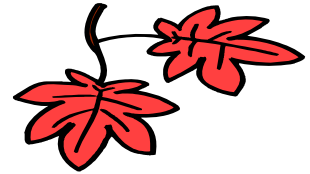


のだネット通信



中核地域生活支援センター のだネット (千葉県委託事業・野田健康福祉圏域)

TEL 04-7127-5366 / FAX 04-7127-5367

〒270-0235 野田市尾崎840-32 / E-mail noda-net.kusunoki@nifty.com



「ろう重複障害者施設をつくる会」より

平成 18 年 10 月 26 日 (木) 野田市総合福祉会館において、野田市聴覚障害者協会、野田市手話サークルけやきの会の合同研修会が開かれました。「千葉県ろう重複障害者施設をつくる会」の活動についてを社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会理事長の植野圭哉氏より講義がありました。

この紙面でも「ろう重複障害者施設をつくる会」の活動をご紹介しますと思います。

私たちの施設づくりを 応援して下さい♪



ろうあ

ちょうかくしょうがい
聴覚障害

+

げんごしょうがい
言語障害

+

しかくしょうがい
視覚障害

ちてきしょうがい
知的障害

したいふじゆう
肢体不自由

せいしんしょうがい
精神障害

=

ちょうふくしょうがいしや
ろう重複障害者

なかま
仲間

なかま ちょうふくしょうがいしや
仲間=ろう重複障害者とは？ (3つ以上の障害をもつ)

わたし のぞ しせつ
私たちの望む施設とは？

1. なかま はたら ば じりつくんれん
仲間が働ける場 (自立訓練)
2. なかま こうりゆう ば
仲間が交流できる場
3. なかま かぞく そうだん ば
仲間・家族が相談できる場

このような施設は関東には、ふれあいの里どんぐり (埼玉)、たましろの郷 (東京) がありますが、千葉にはまだありません。

今までこのようなことが出来る場がありませんでした。ろう重複障害者が仲間と共に身振り手振りで語り合い、共に働き、生活が営める・・・そんな願いを込めた施設の実現を目指しています。

なかま はたら しゃかいさんか
仲間たちも働くことで社会参加が

できるように頑張っています！！

《問い合わせ先》

千葉県ろう重複障害者施設をつくる会

TEL : 043-202-1133 FAX : 043-202-1121

【お知らせ】

11月 は児童虐待防止推進月間です

そんなとき、ひとりで悩まず、市町村の窓口などに相談して下さい。



オレンジのリボンには子どもの虐待を防止するというメッセージが込められています。

子どもを虐待から守るための5か条

1. 「おかしい」と感じたら迷わず連絡
2. 「しつけのつもり…」は言い訳（子どもの立場で判断）
3. ひとりで抱え込まない（あなたにできることから即実行）
4. 親の立場より子どもの立場（子どもの命が最優先）
5. 虐待はあなたの周りでも起こりうる（特別なことではない）

12月1日「いのちの日」県民フォーラム

日時 12月1日（金）13:30~16:00

公演 「こころのケアといやし…ユーモアのすすめ」
上智大学名誉教授 アルフォンス・ゲーテン氏
「自死遺族の思い」
自死遺族のつどい「こころのカフェきょうと」代表
石倉 紘子氏

会場 千葉県教育会館大ホール

定員 500名（当日先着順・入場無料）

お問い合わせ 千葉県健康福祉部健康づくり支援課 TEL 043-223-2671 FAX 043-225-0322
社会福祉法人千葉いのちの電話 TEL 043-222-4416 FAX 043-227-6911

自殺予防 ひとりで悩まずに
あなたの寂しさを受けとめる電話です



相談電話

043-227-3900

社会福祉法人

千葉いのちの電話

障害者の日講演会

12月9日

12月9日（土）14時より、柏市中央公民館5階講堂にて「人にやさしい地域（まち）づくり」をテーマに講演会が開催されます。講師は八代英太さんです。

9月定例県議会で「障害者のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」が可決されました。障害者差別を禁止し、問題解決の手続きを定めた全国初の条例です。この機会に人にやさしいまちづくりについて考えてみませんか？

高次脳機能障害のリハビリテーションの講演会

12月16日

日時 12月16日（土）13:00~16:00 船橋市中央公民館6階講堂にて

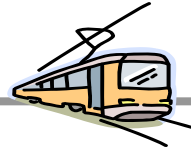
演題 「高次脳機能障害のリハビリテーション」

講師 東京慈恵会医科大学リハビリテーション医 橋本圭司先生

入場 無料

問い合わせ先 ちば高次脳機能障害と家族の会 世話人 角田義規 電話 090-4249-3815

電動車いすで生活されている梶山紘平さんから
外出支援の感想が届きました♪



私は持病の影響で呼吸機能が悪く、ほぼ 24 時間、呼吸器を使用しているため、働きたいという意思があっても体力的に毎日の通勤ができません。在宅で働く方法がないかとインターネットで検索したところ、数多くの在宅業務が見つかりましたが、明らかにいかがわしい仕事や、給料が得られるどころか多額の料金が発生する仕事など、経験の有無を問わず高収入である仕事は大きなリスクを負うものが多いので、信頼の置ける就職先がないか野田市のハローワークに相談してみました。就職に繋がるような手がかりはありませんでした。

その後、野田養護学校の元校長で現在は大学の教授を務めている方の紹介で都内にある在宅雇用の支援を行っている NPO 団体に登録しました。一年ほど経ち、本格的に障害者自立支援法が始まった 9 月に、国からの要請を受けて在宅雇用のための研修を始める事に決まったという旨の連絡があり、都内のハローワークで研修登録の手続きと面接を受けるために北千住まで行く事になりました。

10 月 12 日（木）に、のだネットの方と私に付き添うヘルパーとで北千住のハローワークに行ってきました。在宅業務の面接官は親切な方でしたので、自分の就職に対する思いを上手く伝える事ができました。

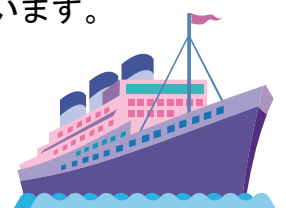
自分で計画して都内まで電車で行くのは初めてだったので、多少不安はありましたが、以前と比べると駅員の対応が良くなっていたので、特に問題なく北千住に到着することができました。行きは清水公園駅から春日部回りで北千住まで行き、帰りは北千住からエクスプレスで流山おおたかの森経由で帰ってきました。階段を使わないためには下調べが必要です。

その後、上野まで足を延ばして上野の森美術館の「ダリ絵画展」を観てきました。印刷でなく実物大の絵はすさまじい迫力がありましたし、観る者に媚びない難解で狂ったような作風は自分の趣味に合いました。全ての絵を見るには時間が足りませんでした。満足です。

9 月 23 日（土）に生まれつき障害をお持ちの方とその家族（母）、のだネットの方とボランティアの方、私に付き添うヘルパーの計 6 名で東京ディズニーシー・ツアーをのだネットの協力の下、企画することに決めました。準備の段階で交通手段に悩みましたが、前述したご家族の方に社会福祉協議会のリフト付きのワゴン車「ゆうあい号」の運転をお願いすることになりました。

当日は台風が近づいていたので、やや風が強かったものの天気は晴れ、絶好の外出日和になりました。到着後、園内入り口付近でのオープニング・ショーを観た後、船上レストランで食事をとりました。少々値段が張りましたが、味には満足しました。その後、汽車も模した電車や蒸気船などのアトラクションを楽しみ、大航海時代をテーマにしたアトラクションでキャストの方の解説を聞きながら、当時の生活を体験することができました。その後、お土産を見ている内に日が暮れてきたので帰宅することにしました。天候の影響でメインの水上パレードは中止になってしまいましたが、第 1 回目のツアーを無事終えることができたので満足しています。

また、ツアーの企画・準備に協力していただいた、のだネットの方々には感謝しております。今回は少人数での外出でしたが、次回から徐々に人数を増やし、少しでも多くの方に楽しめる場を提供できればと考えております。



【報 告】

障害者雇用促進合同面接会へ4名の方を支援してきました。

10月26日(木) プラザヘイアン柏にて「第9回障害者雇用促進合同面接会」がハローワークまつど・野田出張所、松戸市、柏市、(社)千葉県雇用開発協会主催で開催されました。

会場には24社の企業が参加されており、総採用人数が72名ということもあり、面接には約200名近くの方が参加されていました。

全体的な仕事の内容としては、一般事務・パソコンのデータ入力が多く、反対に軽作業・清掃などの仕事が比較的少なかったように感じました。また会場内に聴覚障害者の為の手話通訳者も待機しており、面接の手伝いをしている姿もみられました。障害を持っている人をみんなでサポートし、就労に繋げて行こうという雰囲気を感じました。

のだネットでは「障害者就業・生活支援センタービック・ハート」に協力を仰ぎ履歴書の書き方や面接の仕方を練習し、当日野田市内の会社をいくつか面接しました。

今後も引き続き就労支援には力を注ぎたいと思っています。(記：佐々木)



ガイドヘルパー資格取得講習会終了



10月の土日を利用して、社会福祉法人 愛光 視覚障害者総合支援センターちば主催による、移動介護従事者(ガイドヘルパー)養成研修会に参加しました。知的・視覚障害者研修に39名の受講者が参加して、知的障害者通所更生施設ひばりを会場に講義・実習が行なわれました。知的障害の実習では、知的障害者入所更生施設くすのき苑の行事に参加して利用者とおふれあい、ヘルパーとしての役割・必要性を学ぶことができました。また、視覚障害の実習では、アイマスクをして、白杖を持ちながら、清水公園駅の協力を得て構内の階段の上り下り、電車の乗り降りを実習しました。また、ジャスコでは事前に店内放送で実習の協力を依頼していただき、エスカレーターの乗り方、買い物の仕方を体験することができました。アイマスクをすることによって今まで感じる事のなかった、音や小さな段差や石が気になることに気づきました。様々な体験をさせていただいたおかげで、今後も障害を持っている人の気持ちになり、さらにより良い支援がしていけるよう努力してまいります。(記：佐々木)

平成19年2月に「松戸市ふれあい22」を会場に、ガイドヘルパー(知的障害・視覚障害)資格取得講習会が開催される予定です。

連絡先

社会福祉法人 愛光 視覚障害者総合支援センターちば Tel 043-424-2546

編集後記

ガイドヘルパーの講習会や外出支援時には、東武野田線の野田駅、清水公園駅の職員の方々、利用させて頂いたジャスコ野田店の皆様に大変親切にいただきました。紙面を借りて御礼申し上げます。

(のだネット職員：山本・金城・佐々木・西野・五十嵐)